



紙幣の大調査



調査のきっかけ

2024年7月、日本の紙幣が20年ぶりに新しいデザインとなった。過去から現在までの日本の紙幣と海外で使われている紙幣について調査した。

方法

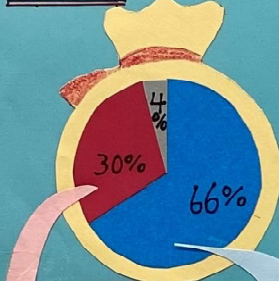
紙幣についての認知・意識調査のためアンケートを実施した。

対象	小学生	小学生	20代	30代	40代	50代	60代	大人
男(人)	35	37	7	10	4	0	2	23
女(人)	46	42	18	16	20	20	3	77
合計(人)	81	79	25	26	24	20	5	100
実施日	2024年7月16日～19日		2024年7月22日～24日					

結果

新紙幣になることに対する賛成意見と反対意見

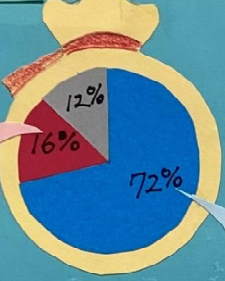
5・6年生回答



賛成
反対
わからない

- ・自販機、インペキングなどの機械の交換に費用がかかる
- ・キャッシュレス時代なのに必要なの?
- ・ソフトがない
- ・デザインがきれい

大人回答



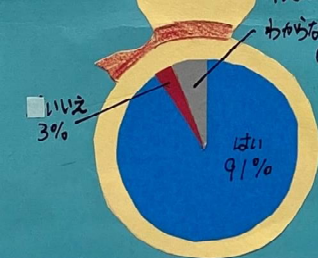
- ・偽造防止
- ・偉人も学ばせかけになる
- ・経済がよくなる
- ・時代が変わることを実感できる
- ・ユニバーサルデザインの採用

- ・古いお店で使えない。
- ・自販機の交換に費用がかかる。
- ・キャッシュレス時代なのに必要なの?
- ・表示が複雑で計算用紙になる。
- ・デザインがきれい

キャッシュレス決済の使用状況について

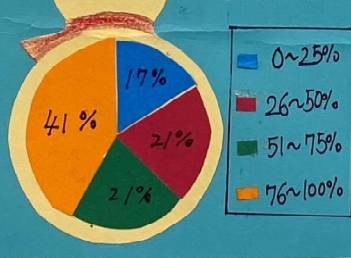
5・6年生回答

自分又は家族がキャッシュレス決済を使用している?

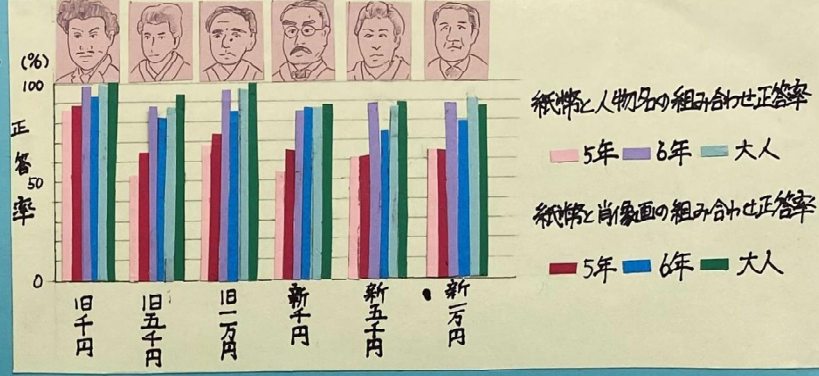


大人回答

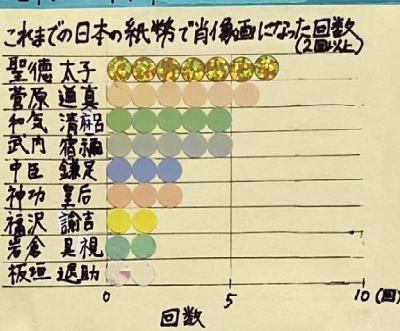
キャッシュレス決済をどのくらいの割合で使用している?



新・旧紙幣の肖像人物について年代別認知調査

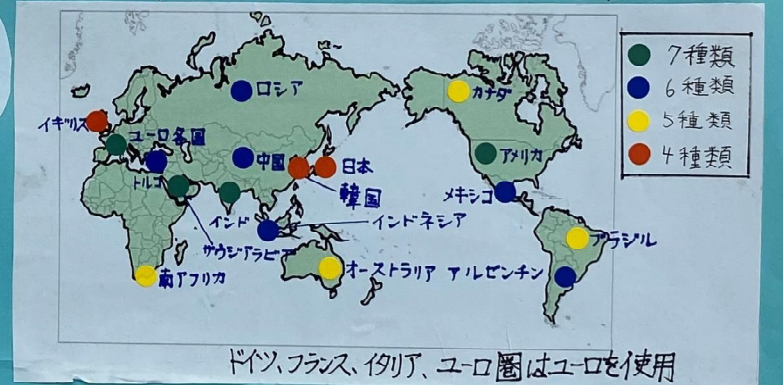


これまで紙幣の肖像画になった人物の認知調査

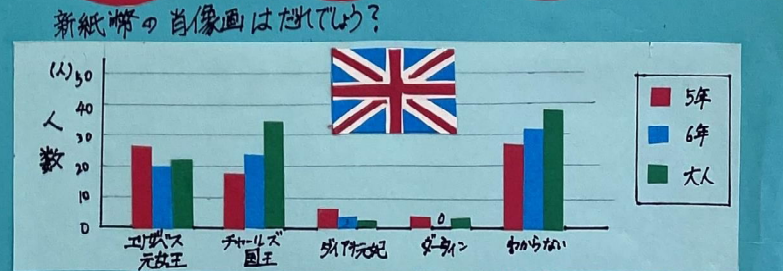
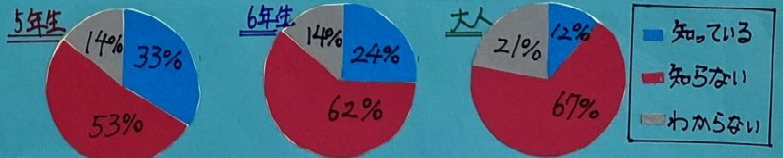


世界の紙幣の種類を調査

～G20加盟国について～



2024年6月、イギリスでも新紙幣が発行されたことに対する認知調査



考察・まとめ

・新紙幣発行について偽造防止・歴史を学ばせかけやユニバーサルデザイン導入などの賛成意見が多かったが、導入コスト問題やキャッシュレス時代に逆行するという反対意見もあった。

・世界ではキャッシュレスが大部分を占めるが、今回のアンケートでも世代間で差があるものの、日本はまだ世界におくれをとっていることを実感した。

・キャッシュレス時代に関わらず、日本では紙幣が4種類であるのに対し、世界の主要国は6～7種類も用いられている事に矛盾を感じた。